



森の守護神

# 森ボラ 通信

第176号 2017年1月20日発行

NPO法人 **北海道森林ボランティア協会**

URL <http://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目9-6 ラルズビル3F

Tel. (fax.): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrinv2002@nifty.com

年頭のご挨拶



明けましておめでとうございます。

NPO 北海道森林ボランティア協会  
理事長 横山 清



安心、安全、そして健康で平和な毎日が送れる社会の構築を目指し、「北海道の自然と森林の一隅からボランティアの作業を通じて自然の大切さを体験し、学習する。」学齢前の児童から、小・中・高そして大学生、社会人が参加するこの森林ボランティア活動は二十一世紀に生きる私たちの理想的な生活を求めるための王道でもあります。

カリフォルニア大学のピフ教授による調査で「高い木を六〇秒見上げている人々は、同じ時間ビルを見上げている人に比べて、はるかに畏敬の念を感じ、見知らぬ人を助けるようになることが明らかにされた。」と報道されました。

この効果は自己中心性を弱め、寛大さと身体的健康も人々に与えると言われます。協会と参加される皆様の積極的な活力は、豊かな自然との交流の証左と言っても過言ではありません。

当協会チャーターメンバーの河村征治さんが身罷って一年、経過しました。関係者全員が健康に留意し、自然を愛し、平和を願っていた河村さんの遺志を実現しようではありませんか。

## ■ トピックス

### ◆ 森しり隊募集(2017年度版)をホームページに掲載

## 親子森林教室・森しり隊募集!!

北海道森林ボランティア協会は2016年4月から、子どもたちが1年(年6回)を通して森に親しみ、遊び、学び、森を育てるいろいろな活動を体験する「親子森林教室」を開設しています。

2年目となる2017年は12組の募集をしています。あなたも「森しり隊に参加」して一緒に森を知る体験教室で自然を楽しみませんか。

なお、森しり隊の1年間の活動内容や応募方法などの詳細は、当ページ左上の「今月の活動・イベント」をクリックしてご確認ください。

## 2017年4月スタート

対象: 小学4～6年生の親子  
活動場所: 澄川の札幌市都市環境林  
費用: 2,000円/年・親子



7月・木の病虫被害の実地観察



4月・キコノ植樹

連絡先: NPO 法人北海道森林ボランティア協会  
事務局長 市山 勝一郎(携帯 090-6697-8839)

Fax.: 011-816-7010 ・ e-mail: hshinrinv2002@nifty.com

ホームページ: NPO 北海道森林ボランティア協会 (URL: <http://www.shinrin-npo.info/>)

### ■ 活動報告

#### ◆ 2016年度仕事納め

18名が参加して、12月15日に仕事納めで無事一年を締め切ることが出来ました。12月に入ってからの大雪で澄川の駐車場使用不能で豊平清掃事務所の駐車場に止めて現場までの歩きとなりました。積雪は管理地付近で75cm、奥まった3本の木道(上流、キャリコ、下流)付近では1mまでに達していました。まず物置周辺の除雪に始まり、木道まで雪をかき分け現場に到着し積もった雪落としに悲鳴を上げながらの作業となりました。1年間お世話になった刈払機、チェーンソーのオーバーホールとテント小屋、第1、2物置内の道具、機器の台帳調査と整理整頓を行い新しい年への健康と安全を祈って澄川を後にしました。



この1年は1月8日に澄川での活動を皮切りに野外での活動機会は126回、参加延人数は1,655名を数え(重複活動は含まず)、2.8日に一回の割合で活動した事になりました。ちなみに中心活動地の澄川では活動機会は85回、参加延人数は1,172人でした。(文・事務局)

#### ◆2016年度 第1回冬期セミナー・2016年12月13日

##### 「札幌の失われた川を尋ねて」

今期1回目のセミナーには地質研究者である宮坂省吾氏にお願いしました。札幌は開拓以来約150年を経て人口200万の大都市になりましたが、豊平川の扇状地上に開かれた街が約150年前からこれまでどの様な変遷を経てきたのか? 川の変遷と街に変化について話して頂きました。

宮坂氏は先人山田秀三氏が1965年に出版された『北海道の川の名』の中で、札幌の川について書かれているが、その殆どが北1条通りより北についての記述であったこともあり、その上流である南側の開拓初期の状況がどの様なものであったのかを調査されてきたことを含め今回お話して頂きました。

札幌の開拓が始められた約150年前、豊平川から西の札幌面と呼ばれる扇状地には数多くの川が流れ、これが分流





したり、合流したり、また各所で湧水があるなど水豊かな地域であり、網目状に多くの川が流れ、川岸には河畔林が育ち、辞林の間には草地が広がっていたとのこと。そして、雪融けや大雨の時、豊平川は溢れ今の市内を円山の辺りまで横流れし、池や川を覆って湖沼の様にもなる事が多かったということです。もともと札幌扇状地はこの様に豊平川の横溢によって形成されてきた土地です。

山田秀三氏<sup>(注1)</sup>は1965年、札幌の地は少なくとも300年前からアイヌの人たちにより「サッポロ」(乾いた・大きい)ペツ(川)と呼ばれており、その名の元来の場所はパラピウカ(広い・石川原)で、平岸の段丘の下から中島公園の間までに広がっていたと考え探した結果、その片鱗を中島公園上流の幌平橋で見つけたそうです。ここには、中州が幾重にも形成され広い石川原となっており、ここがまさに『サッポロ』の名の原点とのこと。

人間が生活するには、まず、水が如何に容易に得られるかが第一であり、このことは世界の四大文明発祥の地が何れも大きな河川エリアであることからしても明確です。しかも豊平川には当時生活に困らないだけの鮭などが捕れたことも要因の一つであると思われます。松浦武四郎らが蝦夷の各地を歩き広い蝦夷地の本府地として、札幌の地を選んだ慧眼には今も頭の下がる思いがします。

この日の講演の後の懇親会では、宮坂氏を囲んで札幌の川論議があり、時間の過ぎるのも忘れるほどでした。そこでこの日の話に出てきた札幌の古い川跡を辿るツアーを2017年初夏に催すことになりました。この日参加出来なかった皆さんも含め多くの皆さんの参加をお待ちしています。

(文・荻田)

注1 山田秀三氏(やまだ ひでぞう、1899年 - 1992年)

戦前は農商務省などのエリート官僚であり、戦後はアイヌ語地名研究家として金田一京助、知里真志保と交友関係を持ち、知里真志保に「私の(アイヌ語研究の出来なかった(現地調査の)師匠である)」と言わしめた。

## ◆澄川標準木調査において、今までの最高値が測定されました



場 所:D-1区(小屋裏沼地の右奥側、駐車場植栽地の右奥)

樹 種:ドロノキ

胸高周長:240.5cm(換算直径:76.6cm)

樹 高:34.5m

緯 度:N 42-58-49.83

経 度:E141-22-06.10

※今までの最高数値はB-1区、ミズナラ、周長192.5cm(換算直径61.3cm)、樹高24.5mでした。

## ◆2017年1月10日(火)活動開始

北海道森林ボランティア協会の仕事始めの活動は晴天ではありませんでしたが厳しい冷気の中で23名多数の参加者を得て始まりました。澄川環境林では年末年始の間も積雪があり、まずは資材置き場の周りを中心に雪掻きを行い2017年の活動の小屋回りの準備を整えることが出来ました。



また今回は酒井代表幹事から活動を始めるにあたって「間伐材安全講習」という事で安全講習がありました。森林ボランティア協会が活動を始めて15年間の中で作業事故が6件発生したということで「蜂刺され」、「チェーンソーよるもの」、「倒木を切った際によるもの」、「鋸よるもの」等がありました。蜂刺されは薬で対応できま



すが個人差があり医師と相談することが必要との事で、また薬の携行を望みます。座学ののち傾倒木・外来種等の間伐要領について実施訓練をしました。倒す方向の木に「切り口」、「受け口」を設け、「追い口」を切り込んで倒します。そして作業時に人は「樹高の2.5倍以内には入らないこと」を確認し実木を使ってチルホールを使用した方法も含めて間伐の実習を行い安全の重要性を理解しました。本年1年無事に作業を完了できるよう安全第一に作業を進めていきたいものです。（文・長濱）

## ■今月の幹事会

出席者：市山・大窪・樫棒・加藤・清澤・酒井・佐野・高野・釣井・西野・矢澤・和田

1. 2017年に向けて
  - ①森林保全活動と親子森林教室の充実
  - ②子ども達に森の素晴らしさ知って貰うための説明者としてのレベルアップ
  - ③天然災害時のボランティアとしての支援の模索
  - ④安全を第一に楽しい森づくり
2. 2017年2月、3月スケジュール・・・幹事会 2月3日（金）
3. 親子森林教室森 2017年度スケジュール・・・2017年度森しり隊募集各機関への働きかけ、2/19、3/26の豊平清掃事務所駐車場使用不可の対応検討・・・近隣の駐車置場の調査
4. 森林・山林多面的発揮機能対策進行状況・・・1月はB-2・4地区の整理伐  
2017年度対策交付金の申請概要の説明を2月の会員例会で発表
5. 澄川環境林現況調査の検討・・・1月セミナーで長坂先生へ澄川環境林の現状説明の趣旨
6. 冬季セミナーの2月、3月開催の件  
2/15・・・カラカネイトトンボを守る会 小本智幸氏 会員例会・・・多面対策事業  
3/15・・・手稲里川探検隊 鈴木玲氏 会員例会・・・親子森林教室
7. 活動  
1/10 澄川（B区） 間伐安全講習会・・・講師酒井  
支笏湖年間活動計画案検討・・・各関係機関と最終打ち合わせ
8. 委員会報
9. その他  
・2016年12月会計報告

## お知らせ

※澄川環境林の駐車場使えるようになりました。  
（株）三幸建設工業の須田社長のご厚意で  
15台分程の除雪をして頂きました。



## ■活動履歴

月日	行事・活動地	参加数	活動内容
1月6日（金）	ラルズビル	12	幹事会
1月10日（火）	澄川	23	仕事始め・間伐安全講習会
1月13日（金）	澄川	13	整理間伐（B-4）・標準木調査（E-3）
1月16日（月）	澄川	21	整理間伐（B-2, B-4）・標準木調査（E-4）
1月18日（水）	札幌エルプラザ	22	会員例会：酒井和彦 「活動地の Before After」 講演会：長坂晶子氏 北海道総合研究所 「森林の水土保全機能と土地利用による変化」